まい ふらわあ
■ミヤマオダマキ
by 安永 達

瞳のなかのプノンペン

撮影・吉田義治

内戦の傷跡深く、入国も困難なカンボジア。ユニセフの使節の一員として、その姿を具さにカメラに収めた吉田義治氏の写真展が開催された。その一部をご紹介しよう。見て下さい。子供たちの輝く瞳を。再建にかける人々の意気込みが伝わる「瞳のなかのプノンペン」。撮影したのが立川人というのも嬉しいじゃありませんか。

▲水を売る少女

漢字テスト ㉚

空欄に一字挿入を試みよ。

熟読■味
形■相同

立川クイズ？！

昔々、立川市は柴崎村と申しました。時代は移り明治11年、北多摩郡柴崎村となりましたが、わずか3年で立川村に改称します。なぜでしょう。

①北多摩郡に柴崎村が2つあった②立川氏の子孫で立川姓の人が多かった③〃立川〃の方が中央に知名度が高かった。

【六月号の答】①

立川市の向い側は西経40度35分、南緯35度41分の〃海〃です。

パートナーは国際人

めでたくゴールインする二人は生まれた時から見えない赤い糸で小指が結ばれているそうな。わが街立川にもいらっしゃるのです。素晴らしく長〜い糸で、しっかり結ばれたカップルが。そう、海を越えるほど。それにしても、この人たちを見ていると、国の違いなんてどうって事ありませんな。人は〃心〃ですよ、ココロ！

タイ

福田　升
ナパワン　夫妻

タイのお寺で知り合ったのだという。さすがに仏教国です。エタイの知れない日本へお嫁にはやれないと周囲の反対。が、誤解も偏見も言葉ものり越え、はや三年。

アメリカ

神田英輔
エリザベス　夫妻

結婚して十六年になる。毎日が新鮮で、新鮮で」とまるで新婚のようなひと言が返ってきた。英輔氏が米国留学中に知り合ったという。エリザベスさん、スーツケース一つで日本へ。アッパレ！

イギリス

神田
ナオミ
国　夫妻

ご夫妻は「明星学園」の英語の先生。なおみさんは英国から赴任してきた。「私、あんまり日本語うまくないネ」とはにかむ。ついご主人のイングリッシュに頼ってしまうとか。純日本風家屋にご主人のお母さんも。干渉しっこなし。

カナダ

ファラン・ケヴィン
中島良子　夫妻

ファラン氏はアフリカ生まれ。人種差別反対のご両親と共にヨーロッパ流浪の旅。その末にカナダに落ちつく。良子さんは富山の育ち、カナダへ移住。立川にはしばしの滞在後、イギリスへ。

エコーハンドベルリンガーズ チャリティーコンサート'88

コンサートの収益金は「日本ユニセフ協会」を通じて世界の恵まれない子供たちへ贈られます。

6/25(土)　開場■6:00PM　開演■6:30PM
立川市市民会館大ホール
入場料●¥2,000（全席自由）

当日券あります

立川からカーネギーへ！

指揮●児玉勝己
演奏●エコーハンドベルリンガーズ

児玉勝己さんがひきいるエコーハンドベルリンガーズが、立川から「音楽の殿堂」カーネギーホールへの出演という朗報です。出発前に同じ曲目で「立川公演」があります。「天使のハーモニー」を聴きにきて下さい。

主催▶エコーハンドベルリンガーズ チャリティーコンサート実行委員会
後援▶日本ユニセフ協会・立川市 立川市地域文化振興財団

お問い合わせ●0425-28-0082/えくてびあん編集工房

同時開催（同会場5:30〜）
写真展　『ダッカのほのかな光』〈天野武男〉　『闇のなかのプノンペン』〈吉田義治〉

立川駅長列伝 ⑦ 中野 明

昭和三三年——当時の午前七時から午前十時までの通勤ラッシュにおける混雑度は、新宿駅二五一三〇％増、秋葉原・御茶ノ水駅一八％増。東京駅に午前八時一五分〜四〇分に到着する急行（現快速）は平均八〜十分程度遅れていた。事態を重く見た国鉄は宣伝カーを使い、時差通勤や一列励行を呼びかけるとともに、首都圏の定期券利用者三五〇万人の三割が通学客であることから、都内の駅長を総動員して国電沿線の高校以上八二四校を歴訪、通勤時間帯の駅の混雑度や電車の遅れについて説明し、始業時間を繰り上げることにより混雑緩和に協力を請うなど、異例の措置が取られた。

その前年、昭和三二年一二月には通勤ラッシュ打開策として、新型の高性能電車モ八九〇型（現一〇一系）を投入したが、列車の長編成化や運転間隔の短縮化だけでラッシュを切り抜けるのはもはや限界であった。

立川駅構内においても、朝夕の地下通路の混雑は目に余るものがあり、このままでは重大事故を引き起こす恐れがあるとして、栗原駅長は地下通路の拡張工事を管理局へ要請、着工を促進した。また、これまで暫定的に行われていた青梅線との直通運転を、立川駅構内の線路配線の一部変更により、定期運行とした他、南武線の荷物輸送をトラックへ移行し、旅客電車の本数を増加するなど、輸送力増強に努めた。

栗原駅長には忘れられない思い出がある。いつの頃からか、駅構内の手洗いに花が生けられていることに気づいた。それは、毎日の輸送対策に追われる職員たちの心を一時和ませてくれた。後日、それが、吉祥女子高校の立川地区通学グループ三十名が、小遣いを節約、昼食のパン代を半分減らして資金を出し合い、殺風景な駅が少しでも美しくなるようにと、学校の行き帰りに花を生け続けてくれていることを助役から聞かされた。（なんと、美しい心を持った生徒たちなのだろう）早速、栗原駅長は、この生徒たちに感謝状と記念品を贈った。

栗原駅長在任当時、既に、立川駅に駅ビルを建て民衆化を図ろうという計画が持ち上がっていた。地元の関心も高く、市議会の席上で説明を求められたこともあったという。

昭和三五年三月、栗原氏は国鉄を定年退職。在任中の数々の功績を讃え、昭和五〇年一一月三日、天皇陛下より瑞褒章を授与された。

※写真は栗原駅長が贈った感謝状に対し、吉祥女子高校より贈られた御礼の花を生ける栗原駅長

真如苑だより

太陽の光が強くなってきました。子供たち待望の夏の到来です。汗をかきかき歩いている途中で、涼しい風が吹くとホッとしますね。暑さに疲れてしまったらちょっと一息身体も心も涼みにいらっしゃいませんか？

■日時　7月23日(土)　午後2時〜4時
■御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。
■立川市民（成人）に限らせて頂きます。
■お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」（本誌を手渡してくれた人）へ。

漢字テスト・こたえ

熟読玩味（じゅくどくがんみ）
文章をよく読み、十分に内容を味わうこと。一読するだけでは、消化不良のもとであるという意。

形影相同（けいえいそうどう）
形と影はピッタリ同じ。心が正しければ、行ないも正しいという警え。形が曲れば心も曲る。

工房から

●ハンドベルという楽器を知らなかった方もおおいのではないだろうか。先月号の表紙で初めてご覧になったという方もまた。この楽器は一人ではメロディーすらもままならない。みんなの心が一つになった時、はじめて「天使のハーモニー」が奏でられる。響け、世界へ！●吉田義治さんが写真展をひらいている。凡百のカメラマンと異なるのはユニセフを通して、世界の恵まれない子供たちへ、鋭い眼を向けていることだ。●実は、と申すまでもなく「月刊えくてびあん」は四周年をむかえた。どういうわけだかこの日本では「4」のお祝い事はパスすることが多いらしいので、心ある方は各自で祝ってあげてください。●夕雲に木立ち色増すえくてびあん。

（編集）石塚敬美　小川知子　神山清子　隅川理
田中恵子　沼上真里　平沢正弘　原田悦子
（写真）天野武男　板橋一明　吉田義治
スタジオ269

月刊えくてびあん　第48号
昭和六十三年七月一日　発行
発行所　えくてびあん編集工房
東京都立川市柴崎町2-4-11 ファインビルディング 3F
電話　〇四二五(28)〇〇八二
編集人　立井啓介
発行人　沖野嘉男
印刷所　株式会社　立川印刷所

SALON D'ARTISTE DANS L'ECOUTEZ-BIEN
えくてびあん あーとさろん

今月から、えくてびあんのアートサロンへ立川の芸術家たちをおよびしよう。第一回目は音楽畑で、それも声楽家ばかり。ソプラノ、アルト、バリトン、テノールと一流のノドが揃ってしまうあたり、わが立川も、なかなか。

○羽根田宏子さん（ソプラノ）
牧野正人さん（バリトン） 錦町
オペラ、リサイタル、と多彩に活躍中。この夏、イタリアへ留学。

○田口興輔さん（テノール）曙町
日本で初めてのイタリアのテノールと称讃される。医者も驚く声帯である。

○管家美保子さん（アルト）柏町
演奏は格調高く、聴き手は気楽に。そんな音楽会がいい、と。